

八日  
日刊  
**東方時報**

印 刷 行 人 岡 田 弘 成  
福 島 煙 石 城 郡 平 可 紙 製 所  
印 刷 所 加 納 活 版 所  
福 島 縣 石 城 郡 平 可 紙 製 所  
發 行 所 磐 城 路 報 社  
一部 金 武 錢 一 月 克 金 卅 錢  
廣告 料 二 行 十 四 字 話 金 五 十 錢  
▲ 日 刊 (日 啓、祭 曰) 休 刊

# 受驗の難關

# 経川町議不走訓

百余、それに色電燈の照明裝置を施して明九日夜から点燈する事になつた。

明長堂講長堂  
新裝全成

記者室は町長室横に増築

平町會議室を擴張議長室、新聞記者室の増築工事は此の程完成し更らに從來の記者室を町長室に、町長室を助役室にの改造工事も完了して既に町長、助役と和田龜治氏を迎えて盛大に舉行されたが、新に増築された事講演會は明九日夕午後六時半から平警察署會議室で陸軍中將和田龜治氏を迎えて盛大に舉行されるが、時局柄注目されてゐる。

余りに離れて居り不便あるものとして青沼町長は新に町長室西北部に記者室を増設する事に決定會議室側に新設された記者室は副議長室兼應接間として使用する事になつた。

▲郡下稅務主任會 郡北  
部聯合教育會四倉方部九校の校長會は十六日午前九時から草野村小學校に於いて開催九年度の教育事業その他を協議する。

和田將軍  
軍事講演  
明夕平署で  
經爲す。  
縣稅務出張所では十二日午前十時から郡内町村の稅務主任會を召集縣稅徵收、土地家屋の貟賃價決定その他に付いての協議を

## 減免稅運動開始

水田亀裂事件後報

(昨報)平窪村大字上平窪字管の努める一方善處策に就いて地主、口地内水田約十町歩の大龜裂事件は原因全く不明で所轄平署では直ちに縣當局に報告したが村當局では草野村長以下村議連が七日實地踏査の上原因の探究に

一人鈴木徳三は語る

「舊冬自分の持田に二三ヶ所小さな地割が生じたので不審

氏は八日平土木監督所に小林長を訪ひ陳情した。

所滴るやうな新緑の葉櫻下に点綴がそれだけに重厚な華麗さと色して或は赤、或は白、或は黄、紫に色とりどりの躊躇の花がボツツリ咲き出した！を見る間に喧噪と觀樂氣分の櫻花に比べて……初夏の耀しい陽光に恵まれは幾分淋しさを感じさせられるが、それだけにシツトリと落付

つてゐる五十才前後の老婆の溺死体が漂流してゐるのを沿岸通行人が發見引揚げて植田署に届けた、檢視の結果他殺の疑充分なので直ちに身元調査を開始し、た結果右は山田村大字上山田字二十五日夜家出行方を晦まし飯川上流に分け入つて自殺を遂げたものゝ顔面その他の負傷は投げ出た際岩角に打付けたものである事判明身柄は家人に引渡した

配してゐる」  
尙被害水田の地主鈴木重次郎外  
十五名は今後の龜裂進行程度に  
よつて植付不能に陥る様な場合  
には減税免稅の運動を起す外は  
ないと寄々協議を進めてゐる。  
小學校卒業後遞信講習所を卒業  
冠を得た當代稀れな好學の青年  
の難關を悠々突破した坂本君は野木檢事係りで取調を進めた結果既に問題の根本たる色川製糖所反對問題も妥協成立を見てゐる折柄とて遂に被告綠川喜三郎議員は不起訴處分と決定した。

老女の溺死　精神異状者の自殺と判明  
他殺？と観られたる  
上遠野村大字根岸字下根岸地内毛内秋山米藏妹サト(五一)でサトは昨年八月中から精神に異状  
較川に七日午後五時半頃死後一

古川の架橋ひを  
サイホン式に變更陳情

四倉小學校では二十七日の海軍  
記念日當日四年生以上の上級生  
全部參加し午前九時平町鎌田橋  
上出發四倉校正門までの驛傳リ  
競争を行ふ。

週間位いを経た顔面その他全身を呈して居り自殺の惧あるので  
夏井村大字菅波甲子大黒天參拜團体を募集  
します

投じて夏井川大改修の附帶事として今年度に改修工事に着手となり地元關係民の喜非常なもので新川氾濫による害防衛の新川悪水豫防組合の

# 名花つゝぢ咲く

青葉下に點綴する  
紅紫白とりどりの花

一、參拜費 一圓八十錢  
神膳料、神酒料、修祓料、箱札料  
自動車往復費、其他一切を含む  
一、希望者は五月十日まで講元佐藤作平宛  
申込まれ度し

さ早くも改修工事実現の幸い  
合解散を決議した程であるが  
の古川に架してある灌漑用懸  
ひをサイボン式に改修された  
と關係地主總代の夏井村大字  
の誇る松ヶ岡の躊躇が唉いた。  
花種三百有余、二千余樹……全  
て國屈指の躊躇園として三萬町民  
の土曜日あたりは満開だらう。  
**明夜から照明装置**

主催 平甲子講  
事務所 平町字紺屋町 佐藤作平方  
電話四〇九番

八日平土木監督所に小林所  
を訪ひ陳情した。  
音楽の夕べ  
十三日マルトモで  
NTK音樂會主催の「音楽」と  
て今日は早くも四分咲き十二日  
が、それだけにシットリと落付  
滴るやうな新綠の葉櫻下に点綴  
して或は赤、或は白、或は黄、  
紫に色とりどりの躊躇の花がボ  
ツツリ咲き出した！を見る間に  
……初夏の耀しい陽光に恵まれ  
喧噪と觀樂氣分の櫻花に比べて  
……観る人達の半ば狂氣じみた  
彩の絢爛に恵まれてゐるつづち  
がそれだけに重厚な華麗さと色

つてゐる五十才前後の老婆の溺死体が漂流してゐるのを沿岸通行人が發見引揚げて植田署に届けた、檢視の結果他殺の疑充分なので直ちに身元調査を開始し、た結果右は山田村大字上山田字二十五日夜家出行方を晦まし飯川上流に分け入つて自殺を遂げたものゝ顔面その他の負傷は投げ出た際岩角に打付けたものである事判明身柄は家人に引渡した

<h1>吉田眼科病院</h1> <p>平町古鍛冶町九一 平町紺屋町(電話六八番)</p>		<h1>歯科</h1> <p>天ぶら仕出し 平町田町 神谷歯科 医院 神谷辰夫</p>	<h1>歯科</h1> <p>歯槽膿漏科 口腔外科 レントゲン科</p>	<p>診療科目</p> <p>一、歯科一般 小齒縫合 歯列矯正 歯科工存 兒科 歯科科科科</p>	<h1>開業</h1> <p>中野歯科醫院</p> <p>院長日本歯科 日本歯科 西川誠</p> <p>平町田町(松月堂向) 電話五〇九番</p>	<h1>日本料理見習</h1> <p>但し男十六歳より二十歳迄 給料その他面談の上</p> <p>旅館 平町宇田町 御料理 甲 電話一四八番</p>	<h1>至急入用</h1> <p>日本料理見習 一名 十六歳より二十歳迄 給料その他面談の上</p>
<h1>石島商會</h1> <p>平白銀町 電話六五〇番</p>		<p>●フレッシュな若人向</p> <h1>ポプリンワイシャツ</h1> <p>●ポプリン、ベンベルク絹、新柄特製品 ●清新な襟付アーケンケシャツの秀逸品</p> <p>正 中野洋品店</p>		<p>事務員見習招聘</p> <p>十六歳より二十歳まで 御希望の方は御来談を</p>		<p>事務員見習招聘</p> <p>十六歳より二十歳まで 御希望の方は御来談を</p>	
<h1>ヒスヤ自轉車店</h1> <p>宮田自轉車代理店</p>		<p>●春の逸品</p> <p>バラソル陳列</p> <p>平2 電53</p>		<p>●小店員二名入用</p> <p>眞面目で身体強健の者 十四、十五歳位委細來談あれ</p>		<p>●小店員二名入用</p> <p>眞面目で身体強健の者 十四、十五歳位委細來談あれ</p>	
<h1>藤沼医院</h1> <p>内科 小兒科 花柳病科</p> <p>派出看護婦 藤沼 平町紺屋五〇七町 電話三五七番</p>		<p>洋服を求める 君はいゝ型の 洋服を求める れられたね。逃だね? いや君コレは四十 目マルトモビル停 車場通で販賣中の ソレ正札堂さ</p> <p>ルビモトルマ目丁四 正札堂</p>		<p>乗合好間・合戸・溝渡方面行</p> <p>三井自動車部へ 電話六八五番</p>		<p>貸切ノ御用命ハ ゼヒ 三井自動車部へ 新車が入りました</p>	
<h1>磐城看護婦會</h1> <p>○○○... ...御一報次第迅速にお伺ひさせます 平町宇一丁目 電話三五七番</p>		<p>正札堂</p>		<p>○小店員二名入用</p> <p>眞面目で身体強健の者 十四、十五歳位委細來談あれ</p>		<p>ゼブラ自轉車 宮田自轉車代理店</p>	
<h1>度量衡計量器</h1> <p>指定販賣人 西村屋藥局 電三番</p>		<p>10日 機設検査 新体溫計の検査口です お宅の体溫計は?</p>		<p>漆器の御用は皆様の丸共へ御用命下 卸賣特に御務め勉強致します。</p> <p>景品賞品 記念表彰品 恩賜賞與品 各國產漆器</p>		<p>新發明 透明障子紙 福島、茨城、宮城、栃木 四縣下一手販賣 磐城名物 北海屋の 北 海 屋 伊勢屋 阿部商店 平町四丁目 電話四五番</p>	